

日本共産党 青森市政だより

発行 日本共産党青森市議団
〒030-0822 青森市中央1-22-5 市議会日本共産党控室

市議会日本共産党控室 ☎ 017-734-1111
(内線) 6017
直通・FAX兼用 ☎ 017-722-8904
メールアドレス kyousant@mail2.actv.ne.jp
日本共産党東青地区委員会 ☎ 017-777-7241
ご意見・ご相談をお気軽にお寄せ下さい。

議会 報告



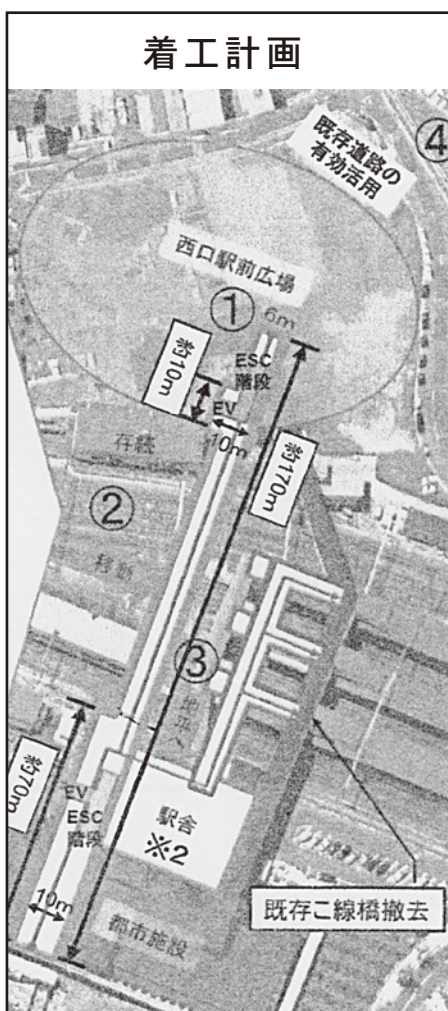
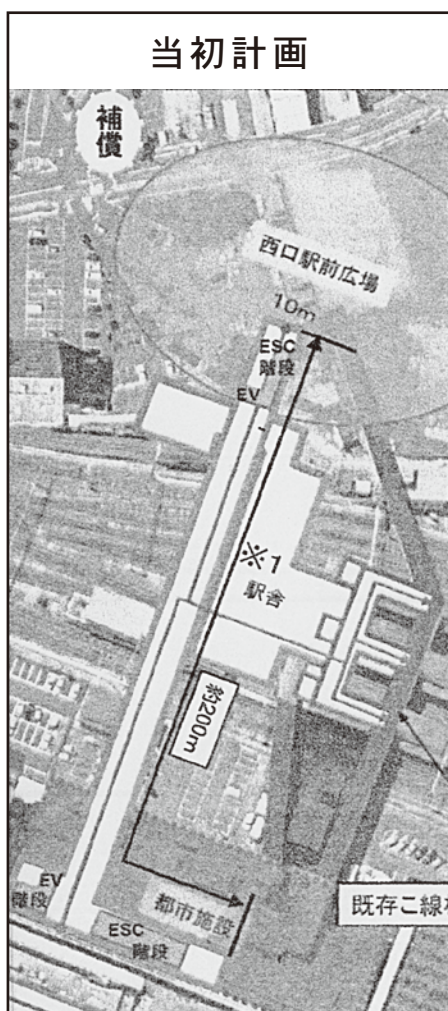
ホテイラン

不要 不急

青森駅自由通路着工強行

駅舎建て替えを市が支援

日本共産党反対



都市整備部作成資料から

不要、不急の無駄な公共事業である青森駅周辺整備事業(自由通路、駅舎建て替え、西口広場整備)を、総事業費97億円で新年度から進めるといふ市長提案を賛成多数で可決しました。日本共産党市議団は、反対しました。

当初、81億円掛かるとされていた事業費を昨年初め詳しく見直したところ123億円掛かることがわかり鹿内市長は、1.5倍に膨らんだので財政が

持たないとして、実施時期を判断するため2年間時間をかけることにしました。2年間の根拠は、公共施設の配置等を盛り込む「立地適正化計画」策定と連携して、人が集まる都市施設も含めた総事業費を把握するため2016年度までかかること、16年3月開業の北海道新幹線の状態を見る必要があることを挙げていました。

一方JR東日本は、2020年度までに青森駅のバリアフリー整備を完了させるために、事業費の縮小について協力したいと市に申し出、今年2月に97億円の事業費としてまとめたものが出されました。JR東日本としては、20年度までバリアフリーを整備するためには、新年度着工をせざるを得ないこと、自由通路建設で駅舎移転や支障物撤去などの多額な補償費を要していることができたという事情がありました。

事業費97億円・市費44億円

鹿内市長は、事業費が削減したということを最大の理由として、2年間判断の時間が必要という方針を捨て、事業着手を提案したものです。安く買ったとしても当初の81億円から見れば16億円増え、市費を44億円投入することになる事業です。共産党は、駅の東西を結ぶ歩行者用の通路は2本もあり、不要不急なもの、自由通路整備に反対してきたものです。

着工する計画図(上図右)では、駅のホームから駅専用の連絡通路を通り、東側の改札を出てから自由通路に向かうことになる、西口からの利用者はホームがこれまでより遠くなり、不自由通路というものになってしまします。当初計画(上図左)では自由通路中央に駅改札口があり、各ホームに直接向かうことができることになっていました。

かえって
不便な
不自由通路

卒業時に平均でも300万円。大学院に進学すれば1千万円もの借金を背負ってしまうケースもあります。遊ばためでも、高額な買い物のためでもない、大学で学ぶために人生の門出を大きな借金を背負ってスタートしなければならない、まったく異常なことです。日本共産党が、「学費・奨学金の抜本改革」を提案しました。学費引き下げの大学に国が支援する。給費型の奨学金制度を作るといふものです。1日も早い実現を。

時潮

Aさんは、二人の子どもを抱えたシングルマザーです。長女は4月から高校1年生。長男は4月から高校3年生、大学進学を目指しています。成績は学年トップクラスなので、関東の私学の工学部へ学校推薦で行くことができず、入学金、授業料、生活費のことを考えると頭が痛いAさん。奨学金を借りても足りません。別れた夫に教育ローンを借りてもらう相談もしているそうです。▼日本は、世界的にも高い学費でありながら、給費制奨学金制度がないという特異な国になっています。そのため、学生が奨学金という名の借金を負われ、卒業時に平均でも300万円。大学院に進学すれば1千万円もの借金を背負ってしまうケースもあ



館田るみ子

少子・高齢化と核家族化の進行で、先祖代々からのお墓を守ることが難しくなった家族やお墓を持てない人も増えている中で、継承者の必要がない、低価格のお墓を望む声に応えて、ひとつのお墓に多くの遺骨を埋蔵するという新しい形式の合葬式墓地を整備する自治体が増えてきました。

館田市議は「青森市にも合葬墓を作ってほしい」との声を届けて質問を続けてきましたが、昨年の6月議会では「可能な限り早期に着手できるよう努めたい」と答弁があり、28年度当初予算に、地質調査と設計業務に係

合葬墓の整備に着手

予算として、1612万5千円が計上されました。

使用開始は30年度の予定

館田市議が「合葬墓の概要と使用する資格要件について」質問したところ、鹿内市長から「一定期間骨壺で保管する納骨

最初から共同埋葬する方法も提案

館田市議は、経済的理由で埋葬できないという人たちが利用できるような、出来るだけ使用料が安く済むようにとの思いから「納骨室に一定期間安置する方法の他に希望者には最初から遺骨を共同埋葬出来るようにして



かさい育弘

かさい市議は現場の状況をパネルで指摘しながら、3点の問題について改善を求めました。



道路脇の雪の堆積で運転席から見えない道路標識

の視界を確保するため、道路脇の堆積した雪の高さに一定の基準を設けるべきではないか」と求めました。それに対し館田一弥都市整備部理事は「画一的な基準は設けないとしても、パトロールで状況把握し、必要に応じて雪盛処理などにより視界を確保するよう努めていく」と答えました。

歩行者空間の確保を

かさい市議は「冬季パリアフリー計画は、安全で快適な歩行者空間の確保が目的であるのに、駐車場や空き家などの歩道、また横断歩道の歩行者動線がふさがれている」と指摘し、解消するよう求めました。館田理



村川みどり

村川みどり市議は、予算特別委員会で「放課後児童会の開設時間を、18時から19時までにする考えはないか」と質問しました。

能代谷健康福祉部理事は「今年度実施した小学生の保護者を対象としたアンケート調査において、時間延長を望む声が多かったことから、市としても放課後児童会の開設時間の見直しが必要であると認識している。こ

「選挙公報」

視覚障がい者用発行を

村川市議は一般質問で、「(仮称)青森市障がい者計画」で情報バリアフリー化に向けた取り組みを推進することになっている、点字または音声による視覚障がい者用「選挙公報」の発行について質問しました。

福田康平選挙管理委員



天内しんや

連携中枢都市圏構想

住民サービスの低下につながる

連携中枢都市圏構想とは「連携中枢都市となる圏域の中心市と近隣の市町村が連携協約を締結して、コンパクト化とネットワーク化を図っていく中で一定の圏域人口を有し、圏域の活性化を図ろうとする構想」のことを言います。

いるのか」との天内しんや市議の質問に、福井正樹市民政策部長は「本市を含む東青5市町村がそれぞれ有する魅力を最大限活性化させることができるもの」と答えましたが、天内市議は「連携中枢都市圏構想とは、中心市に安部内閣の成長戦略を担わせるもの」、地方再生の名のもとに、地方行革を推進し、病院や公共施設の選択と集中を進めることになり、しいては住民サービスの低下や住民自治の機能低下につながる」と指摘しました。

指定ゴミ袋

字を書けない方にシールを貼ってもらう

り、「私達はゴミ袋に字を書くことができないので何か方法を考えてほしい。私達以外でも字を書けない人がいると思う」というものでした。

質問に対して赤垣健康福祉部長は「視力や手に障害があり、字を書けない方のためにシールを作りお届けし、ゴミ袋に

線路の防護柵設置を

矢田前本泉地区を通る青い森鉄道に線路敷地内に入るのを防ぐ防護柵がないところがあります。藤原市議は予算特別委員会で「青い森鉄道は、防

金子都市整備部長は「同鉄道に問い合わせたところ新年度も未着工部の工事を実施するとのことだった。市としても安全確保のために求めている」と答えました。



山脇さとし

一般質問において、山脇市議は市の除雪体制について質問しました。市では1月16日からの降雪を受け、1月19日には市内全域の委託工区に除排雪指令を出しました。

マイナンバー

詐欺被害への注意喚起を

一般質問において、山脇市議はマイナンバー制度について質問しました。山脇市議は「すでに全国でマイナンバー制度を悪用した詐欺が多発している。とくに高齢者が狙われており、すでに多額の現金をだまし取られたケースも発生している。」と、全国で発生しているマイナンバー詐欺被害の状況や、実際の手口につ

放課後児童会

19時まで延長を

福田康平選挙管理委員

生活道路

指示から2日以内に排雪を

矢田前本泉地区を通る青い森鉄道に線路敷地内に入るのを防ぐ防護柵がないところがあります。藤原市議は予算特別委員会で「青い森鉄道は、防

矢田前本泉地区を通る青い森鉄道に線路敷地内に入るのを防ぐ防護柵がないところがあります。藤原市議は予算特別委員会で「青い森鉄道は、防



公共化する方針が出されたアウガ

アウガへの庁舎移転、撤回へ

青森市は2月15日に発表した方針案「新生アウガを目指して」の中で、市役所庁舎の一部機能をアウガへ移し、新庁舎の建設計画を見直すことを発表しました。

山脇市議は3月4日の一般質問で「庁舎建設は、多くの市民の皆さんからの意見募集、数多くの説明会や意見交換会が行われて、議会においても様々な紆余曲折を経て、そのうえで、防災の観点、市民の利便性、予算の面などから、現在地に建て替えることが決定した経緯がある」と述べたうえで「耐震性に問題のある市役所庁舎の建て替えは、市の最優先課題と位置付け市長はこれまで進めてきている。共産党派も、市民の安全、安心や利便性を考え、現在地に庁舎を建て替える方針に賛成をしてきたのに、突如としてアウガに市役所庁舎を入れるというのは、到底認めることはできない」とアウガへの庁舎移転を撤回するよう強く求めました。

鹿内市長は「アウガの公共化の問題が急遽出てきた中で、市の厳しい財政状況を考えて提案した」と答えました。

山脇市議は「市役所は多くの市民の皆さんが利用し、また市の政策、方針が議論され決定する重要な場所だ。東日本大震災以降は、市民の命、安全を守る防災の拠点としての重要性も大きくなってきた。にもかかわらず、建設費を浮かせるためだけにこれまでの議論をないがしろにして、建設計画を見直すのはあまりにも乱暴だ」として、市長に庁舎移転を撤回するよう求めました。

鹿内市長は3月8日議員説明会を開き、アウガへの庁舎移転については撤回することを表明しました。

サンドーム 照明

180灯中59灯点灯せず

改修工事に着手へ

市民から「サンドームの照明が暗くてボールが見えづらい」という声が寄せられていました。村川みどり市議は早速

確認し、180灯中59灯の照明が点灯していないことを指摘し、早急に改修するよう求めました。



改修工事が行われる予定のサンドーム

横山克広教育委員会理事は「適切な管理がされていないかつたことにお詫び申し上げる。現在専門業者から意見聴取し、できるだけ早く改修工事に着手したい」と答弁しました。

さらに村川市議は「主練習場の電気使用料は、半分しか点灯していないにもかかわらず、全灯料金徴収するのは過徴収であり、速やかに見直し、12月にさかのぼって返還すべきではないか。それが市民に対し誠意ある対応であり、信頼回復にもつながるはずではないか」と質問しましたが、横山理事は「関係部局と協議する」と答弁しました。

後日、予算特別委員会で村川市議が検討結果を質問したところ、横山理事は「関係部局と協議した結果、3月14日以降は、新たな照明設備となるまで電気使用料は免除とし、12月1日からの納付済み電気使用料については、還付することになりました」と答弁しました。

教育委員会の速やかな対応は評価できるものの、日常的な皆さんの管理が問題であり、市民の皆さんに喜ばれる管理運営がいつそう求められます。

会派の態度

議案・意見書・請願

まちづくり基本条例の制定について―修正案(住民投票部分を削除しようとするもの)

青森市配置分合及び境界変更に関する住民投票条例の制定について

小中学校給食費値上げの中止を求める請願

多子世帯における小・中学校給食費の負担軽減制度を求める請願

TPP協定の国会批准を行わないことを求める意見書

議案・意見書・請願	共	自清	新政	社	市ク	公	無
まちづくり基本条例の制定について―修正案(住民投票部分を削除しようとするもの)	×	○	×	○	○	○	○
青森市配置分合及び境界変更に関する住民投票条例の制定について	○	×	△	×	×	×	×
小中学校給食費値上げの中止を求める請願	○	×	×	○	×	×	×
多子世帯における小・中学校給食費の負担軽減制度を求める請願	○	×	×	○	×	×	×
TPP協定の国会批准を行わないことを求める意見書	○	×	△	○	○	×	○

共↓共産党、自清↓自民清風会、新政↓新政無所属の会
社↓社民党、市ク↓市民クラブ、公↓公明党、無↓無所属
(○↓賛成、×↓反対、△↓一部賛成)